

令和4年度（麻生支援学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上 （法令の遵守（高い倫理感の保持及びわいせつ事案をはじめとする不祥事の根絶）、服務規律の徹底）	教職員としての使命とともに、社会の一員であることを自覚し、公務内外にかかわらず常に、公務員としての自覚を持ち行動する。	不祥事防止啓発・点検資料を活用し、各職員が点検するとともにその結果を不祥事防止会議等で共有した。また、臨時的任用職員および会計年度任用職員を対象に服務に関する研修を実施し、神奈川県公立学校教職員の倫理に関する指針等を活用し、法令厳守の意識の向上を図った。
職場のハラスメント （パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	職員同士が互いの人権を尊重した言動・行動を行い、働きやすい職場環境を作る。	不祥事防止啓発・点検資料を活用し、各職員が点検するとともにその結果を不祥事防止会議等で共有した。また、体罰調査やセクハラ調査等の機会に、同僚性を大切にしたい職場づくりの重要性について周知を図った。
児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	児童・生徒の意思と尊厳を守り、指導体制や環境を整え、適切な対応を行う。	不祥事防止啓発・点検資料を活用し、各職員が点検するとともにその結果を不祥事防止会議等で共有した。また、児童・生徒への丁寧で適切なかわりのスタジアムの検討をとおして、職員間の共通理解を図った。
体罰、不適切な指導の防止	児童生徒の人権を尊重した支援、指導をチームで行う。	人権研修を実施し、体罰、不適切な指導、体罰に当たらない指導について、理解を深めた。不祥事防止啓発・点検資料を活用し、各職員が点検するとともにその結果を不祥事防止会議等で共有した。また、児童・生徒への丁寧で適切なかわりのスタジアムの検討をとおして、職員間の共通理解を図った。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜資料、個別教育計画、進路関係書類等の作成・保管・廃棄を適切に行う。	不祥事防止啓発・点検資料を活用し、各職員が点検するとともにその結果を不祥事防止会議等で共有した。文書の作成については、起案により複数の目で点検し、文書の廃棄については、管理簿により、各文書の管理状況を確認した。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の適正な管理と運用により信頼性の高い業務の遂行を図る。	不祥事防止啓発・点検資料を活用し、各職員が点検するとともにその結果を不祥事防止会議等で共有した。全職員を対象とした情報セキュリティに関する研修を実施し、理解を深めた。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通ルールを守り、事故の未然防止及び飲酒運転ゼロを継続する。	不祥事防止啓発・点検資料を活用し、各職員が点検するとともにその結果を不祥事防止会議等で共有した。休業期間前には、管理職が全職員に向けて注意喚起を行った。
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	各職員が学校運営に主体的に参画し、働き方改革を推進する。	各部署で業務改善のアンケートを実施した。朝の打ち合わせや職員会議をオンラインで実施し、情報共有の充実と効率化を図った。各種アンケートを電子化し効率化を図った。

財務事務等の適正執行	公費及び私費会計の適正な執行・管理や、備品、消耗品等の適正な管理を行う。	私費会計については、年度当初に研修会を実施し、手続きの周知を図った。不祥事防止啓発・点検資料を活用し、各職員が点検するとともにその結果を不祥事防止会議等で共有した。
------------	--------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------

○ 令和4年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和5年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

不祥事防止啓発・点検資料の活用、不祥事防止に関連した通知の周知、新転任者対象の研修、臨時的任用職員及び会計年度任用職員対象の研修を、年間を通して計画的に行うことができた。また、児童・生徒への丁寧で適切なかわりのスタンダードの作成を通して、全ての職員の人権意識の向上を図った。令和5年度は、今年度の成果を生かして、職員間の対話を大切にして、人権意識の向上につながる情報が流れ続ける職場づくりを行いたい。また、業務改善については、全ての職員が提案できる体制を整えることにより、働きやすい職場づくりを行いたい。